

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.52 (2020.7.27)

令和2年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
全てのステークホルダーの満足度向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

本日 7 月 27 日は故和賀直志会長の 49 日です。仏教では人が亡くなって 49 日間は魂がこの世とあの世を彷徨っており、七日ごとに極楽浄土に行けるのかあるいはそうではないのかの裁きが行われ、七日ごとに行う法要にはどうか故人が無事に極楽浄土の仏様のもとへ旅立てるようにと祈る意味があるのだそうです。

仏教には様々な宗派があります。和賀家は曹洞宗ですが社員の皆さんの中には他の宗派あるいは神道の方もいらっしゃるかもしれませんね。参考までに代表的な宗派と開祖を紹介します。もうすぐお盆です、今年は静かにご先祖様に想いを馳せ、それぞれの開祖や総本山について家族で話し合うのもよろしいかと思います。

宗 派	開 祖	代表的総本山
真言宗	空海 弘法大師 774-835	金剛峯寺（和歌山県伊都郡）
天台宗	最澄 伝教大師 767-822	延暦寺（滋賀県大津市）
日蓮宗	日蓮 立正大師 1222-1282	久遠寺（山梨県南巨摩郡）
浄土宗	源空 円光大師 1133-1212 法然	知恩院（京都市東山区）
浄土真宗	親鸞 見真大師 1173-1262	西本願寺（京都市下京区）
		東本願寺（京都市下京区）
臨済宗	栄西 千光法師 1141-1215	妙心寺（京都市右京区）
曹洞宗	道元 承陽大師 1200-1253	永平寺（福井県吉田郡）

京セウの創業者で「経営のカリスマ」と呼ばれ、2010 年には会長として JAL を奇跡の再生へと導いた稲盛和夫氏は、1997 年に京セウの会長を退き臨済宗円福寺にて得度、僧籍を得たことでも有名な日本を代表する経営者の一人です。稲盛氏が 2004 年に著した「生き方」という本には、氏が経営者として体験してきたことが書かれています。その中に「災難に会ったら「業」が消えた」と喜びなさい」というくだりがあります。「災難によって今まで魂についていた業が消えていく」このような境地には我々凡人はなかなか到達はできませんが、コロナ禍の今こそ「思いを実現させる」「原理原則から考える」「心を磨き、高める」「利他の心で生きる」「宇宙の流れと同調する」といった法則で生きることが、人生を豊かにするのだと教えてくれているのだと思います。

仙道良次先生と再会

6/14 仙台市に住んでいる仙道良次先生を訪ねて参りました。8 月で 89 歳になられるとはとても思えないほどお元気でした。先々代への感謝の気持ちを伺ってまいりました。



新建設業勉強会

ハイス&Co 主催の講演会が 7/16 ZOOM で開催。今後は公共事業の多くが民間へ運営も含めて移譲されていく時代になっていくものと思われます。



木質バイオマス発電視察

7/20 新庄市にある木質 BM 発電所を視察する機会を頂きました。約 10 町歩の敷地に貯木場とチップ工場・発電所を建設、一日 150t の間伐材等を燃料に、13,000 世帯分の発電をしていました。

